

「生徒一人一人が輝く学校」を目指して

北海道標津高等学校 校長 渡 辺 幹 夫



今年度の学校案内のパンフレットにも同じ表題を載せましたが、本校は、「生徒一人一人が輝く学校」を目指しています。今現在、全校生徒が71名の小規模校ではありますが、本校の先生方は、一人一人の生徒に対して丁寧に面倒をみてくれています。この小規模校ならではのメリットを生かし、生徒一人一人が輝き、そして生徒全員が活躍できる学校となるように、今後も魅力があり、特色のある教育活動を進めて参りたいと考えます。

さて、早いもので前期が終了しましたので、前期を振り返ってみたいと思います。

4月の入学式から始まり、5月には、猛威を振っていた新型コロナウイルスが5類に移行された関係で、徐々にではありますが、通常の教育活動が戻ってきました。6月には、今年度90周年を迎えたことにより、同窓会のご支援をいただきながら、記念事業として全校生徒及び全教職員とでドローン撮影を行い、それをパネルにして生徒玄関前に展示しております。その他、11月には、本校体育館にて記念講演会を開催する予定であります。7月上旬には、学校祭があり、3年ぶりに2日日程で開催し、2日目に一般公開を行い、生徒達の活躍する姿を保護者や地元の小中学生、町教委の皆様に見ていただくことができました。生徒達は、自作した衣装を身にまとい、クラス一体となってパフォーマンスをするなど、楽しんでいる様子が伺えました。そして、最後に花火を打ち上げて、感動のフィナーレを迎えることができました。7月下旬には、町教委の多大なるご支援により、1年生全員による東日本大震災の被災地を見学するなどの防災研修を実施しました。この貴重な経験を、出前授業として、地元のこども園・小学校・中学校、地域の皆様方に還元していきたいと思います。9月下旬には、標津高校の伝統行事である強歩遠足を行いました。今までの距離を半分にすることで、生徒全員が、完歩することができ、また、野付半島沿いのゴミを拾いながら歩くことにより、SDGsの目標のひとつでもある環境問題を考えるよい機会になったのではないかと思います。

終わりになりますが、後期も見学旅行をはじめ、一日防災学校、スポーツ大会、卒業式、高校入試と行事が目白押しにありますが、生徒達が有意義な高校生活を送ることができるよう、学校運営に努めて参りたいと思いますので、今後とも、地域の皆様方の変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

体験入学



9月15日(金)令和5年度の中中学生対象の体験入学が行われました。
近隣中学校から40名を超える生徒が体験に来てくれました。

今年度の体験入学は、体験重視ということで、今年は遠隔配信授業を札幌からお願いして配信授業の雰囲気を経験してもらいました。

また、本校で取り組んでいるスタサプにも取り組んでもらい、タブレットで操作しながら、自分の興味ある単元を楽しそうに体験してくれました。



授業は、商業科の説明と自然環境系の授業の様子を紹介し、先生方の熱いプレゼンが光りました。

お越し頂いた皆さんありがとうございます。高校選択にぜひ、標津高校を入れてもらえると光栄です。

第70回

標高祭 7月8日～9日開催



生徒の皆さん、そして先生方、学校祭お疲れ様でした。
 今年はコロナウィルスの影響が心配されることなく、3年振りに2日間日程で学校祭を行うことができたことを大変嬉しく思います。2年生、3年生は初めての2日間日程で、昨年よりは仕事量が多かったと思いますが、生徒数が少ない中、役割を決め、仕事をこなしてくれてとても助かりました。

これからは生徒数が減少していくと思いますが、1・2年生には無理をしない範囲で2日間日程を経験してほしいと思います。学校祭は、年間行事の中で1番時間を費やすのでとても大変だと思いますが、その分記憶に残ると思います。頑張ってください。

また、有志や生徒会企画、各学年の発表があったからこそ、今年の学校祭は成功することができました。一見仲違いかと思われるかもしれませんが、全校で協力し合えば困難を乗り越えられるということが証明できました。

残り少ない学校生活ですが、皆で楽しく生活していけたら良いなと思います。

3年A組 阿部 泰成



野付巡検

毎年1年生を対象に実施しています。野付半島の観察と合わせて清掃活動を行っています。



「野付巡検を終えて」

今日の野付巡検で感じたことは、植物が少ないことです。野付半島は海流などで砂や石が集まってできた島なので、生物で習った一次遷移を間近で感じられてとても嬉しかったです。海岸に打ち上がったアマモなどがあったので、本当に虫がいるのか確かめるために少しめくって見てみたら、たくさん虫がいてびっくりしました。

私が野付巡検を終えて考えたことは、これからまだ野付半島が大きくなることです。堆積してできた島だからまだまだ土地が増えていくのではないかと考えたからです。数百年後には、北海道くらい大きくなるのではないかとわくわくしました。

1年A組 中條 迅

令和5年度

魅力ある様々な行事

防災視察研修

7月26～28日、1年生全員が宮城県・岩手県の被災地を視察しました。また、生徒会役員は、7月29日～8月1日、3回目の東北防災視察研修を行いました。



▶ 防災研修を終えて（宝来館）

宝来館で見せてもらった動画はとても衝撃的で悲鳴に近いような声で「逃げて！」「早く！」と叫んでいる様子は見ていて心が「きゅっ」となりました。この動画で私は津波が来るかもしれないと思ったらすぐに逃げることに、戻らないことが大事だと再確認できました。宝来館で2択を迫られたときのような状況でも諦めずに生きたいと思いました。

今回の防災研修で、東日本大震災のとき起こったことがどれほどのものだったのか、認識を改めることができました。津波の威力や高さは我々が思っているよりも大きくて、少しの油断で命を落としてしまうものであり、話し合ってから逃げたり、訓練ではこまでしか来てなかったなどと、妥協したらいけないのだとよくわかりました。この貴重な経験を最大限に活かし、より多くの人に知ってもらえるように、これからの発表準備に取り組もうと思いました。

1年A組 阿部 恋奈



いのちをつなぐ未来館（釜石市）



千年希望の丘2号相野釜公園（岩沼市）



東松島市震災復興伝承館（東松島市）



▶ 防災研修を終えて（石巻市震災遺構大川小学校）

東日本大震災では、自分が想像できないくらいの強さの津波が押し寄せてきたということがわかりました。

大川小学校で山へ避難しなかったことが未だに信じられない部分があり、やっぱり一人一人がとっさの判断ができるようにしておくためにも、しっかりと日頃から一次、二次避難場所への避難訓練を実施することが大切だと改めて感じました。



旧大川小学校震災遺構（石巻市）



祈りのパーク（釜石市）

どこにいても「ここは安全だから避難しなくても大丈夫」という場所はないから、大丈夫と思わずに1分1秒でも早く、少しでも高い場所へ率先避難者になれるように避難することで、少しでも多くの命を救う鍵になると防災研修を通して強く心に響き、多くの人がそう思えるように皆に伝えていきたいと思いました。

1年A組 濱崎 佳志乃



▶ 生徒会防災視察研修

今回、私は3回目の防災視察研修に行ってきました。1回目は初めての防災研修で衝撃を受け、2回目は、元の知識と街並みなどの被災した地域の景観を結びつけました。3回目である今年は、1・2回目の経験と知識を元により理解を深め、これまで学んだ知識を振り返りました。特に記憶に残っている場所は、岩手県宮古市田老地区です。その理由は、標津町と同じく水産業が行われている場所であり、何より高齢者の多い地域という共通点がある地域だったからです。田老地区は過去2回の津波被害から高い防潮堤と町の区画整理など多くの防災に取り組んでいました。しかし、



釜石市夢田との交流



荒浜小学校



宮古市田老地区防潮堤

それに頼り過ぎてしまい多くの被害を出してしまいました。これは、標津町にも言えることだと思います。防潮堤などに頼る防災ではなく、知識から考え、自分の意志でまず逃げるという行動ができる町民の意識作りを、学んできた知識を伝えることで進められるといいなと思いました。

3年A組 今村 歩乃華

部活動の結果

陸上競技部

第76回北海道高等学校陸上競技選手権大会釧根支部予選会

(令和5年5月17～19日)

1年	加藤 颯輝	円盤投	7位
1年	加藤 颯輝	ハンマー投	5位
1年	加藤 颯輝	やり投	13位
1年	齊藤龍之助	円盤投	11位
1年	佐藤 猛	走幅跳	9位
1年	中條 迅	走幅跳	12位
1年	中條 迅	やり投	15位

第76回北海道高等学校陸上競技選手権大会北海道予選会

(令和5年6月13～16日)

1年	加藤 颯輝	ハンマー投	14位
----	-------	-------	-----

織田杯池田杯争奪第50回釧路新人陸上競技大会

(令和5年8月26～27日)

1年	加藤 颯輝	やり投	2位
1年	中條 迅	やり投	4位
1年	濱崎佳志乃	走高跳	5位
1年	佐藤 猛	走幅跳	6位
1年	中條 迅	走幅跳	9位
1年	佐藤 猛	100m	8位
1年	齊藤龍之助	円盤投	5位
1年	加藤 颯輝	ハンマー投	1位
1年	桜井 颯峯	ハンマー投	3位

第39回北海道高等学校新人陸上競技大会

(令和5年9月20～22日)

1年	加藤 颯輝	ハンマー投	6位
----	-------	-------	----



陸上部に入部してから半年が経ち、1年生9人が毎日練習を続けています。自己ベスト更新や全道大会出場など目標を達成するためにアドバイスをもらって、それぞれ工夫しながら練習しています。陸上競技は個人競技ですが、日々の練習や大会に向けて支え合い協力することから、団体競技でもあります。これからも協力して練習し、来年はリレーでも良い結果を出したいと思います。活躍することで、一緒に練習している仲間や先生方、地域の皆さんに喜んでもらえるように、この先も目標に向かっていきます。応援よろしくお願いします。

1年A組 佐藤 猛



「高体連新人全道大会出場」

陸上部に入部してから始めたハンマー投げで、高体連の新人全道大会に出場しました。大会では自己ベストを更新して6位に入賞することができて、とてもうれしかったです。1年生なので、これからも大会で記録を伸ばして、インターハイに出場したいです。

また、全道大会にはどの種目にも記録を更新する選手がいました。私も大会記録を残すような素晴らしい選手になりたいと思っています。皆さん、これからも応援よろしくお願いします。

1年A組 加藤 颯輝

卓球部

高体連を終えての感想は、やりきれてよかったということです。僕は小学校4年生から高校3年生まで卓球をやっていました。最後の大会ということで僕は一生懸命練習をして大会に臨みました。正直結果はよくありませんでしたが、ここまで卓球を続けた自分を誇らしく思っています。また、ここまで続けられたのは、たくさんの人たちの支えがあったからです。支えてくれた皆さんに感謝して生活していきたいです。

3年A組 加藤 悠仁



第76回 北海道高等学校卓球選手権大会釧根支部予選会

(令和5年5月18日)

◆男子シングルス

2回戦	三国 琉聖	0-3	中標津高校
	加藤 悠仁	0-3	釧路湖陵
	齊藤慎太郎	3-1	阿寒高校
3回戦	齊藤慎太郎	1-3	釧路明輝

◆男子ダブルス

2回戦	加藤・齊藤	2-3	釧路湖陵
-----	-------	-----	------

バドミントン部

まずは応援してくれた方々、これまでお世話になった方々、そして共に頑張ってくれたチームメイトに最大限の感謝を伝えたいです。今まで本当にありがとうございました。

正直に言って、悔しいと情けない以外の気持ちは何一つ残っていません。「全道大会出場」という一年生から掲げてきた目標を達成できなかったのは、努力不足という他にないと思っています。ただ、目標に向かって努力した三年間はとても価値あるものでした。「頑張ったけど何も成せなかった」という経験を絶対に無駄にしないよう、今後の活動に活かしていきます。

3年A組 阿部 友飛

第75回北海道高等学校バドミントン選手権大会釧根支部予選会

(令和5年5月23～25日)

◆男子団体戦

1回戦	3-0	釧路東
2回戦	0-3	武修館

◆男子ダブルス

1回戦	阿部泰・橋 詰	1-2	釧路商業
	濱 崎・福 士	2-1	弟子屈
	大 石・山 谷	0-2	釧路商業
	阿部友・寺 上	2-0	釧路湖陵
2回戦	濱 崎・福 士	0-2	白糖
	阿部友・寺 上	2-0	釧路工業
3回戦	阿部友・寺 上	0-2	武修館

◆男子シングルス

1回戦	橋詰 一牙	2-0	中標津農業
	濱崎蔵乃介	2-0	釧路商業

2回戦	阿部 友飛	2-0	釧路東
	橋詰 一牙	0-2	標茶
	寺上 勇気	2-0	霧多布
	濱崎蔵乃介	0-2	釧路高専
3回戦	阿部 友飛	0-2	釧路湖陵
	寺上 勇気	0-2	中標津

◆女子シングルス

1回戦	平井 佑奈	0-2	別海
-----	-------	-----	----



後期の 行事予定



10月	4日	後期始業式
11月	8日	生徒総会
	21～24日	後期中間考査
12月	25日	冬季休業前全校集会
	26日	冬季休業(1月17日まで)

1月	18日	冬季休業明け全校集会
	29～31日	3年学年末考査
2月	19～22日	1、2年学年末考査
3月	1日	卒業式
	22日	修了式・離任式